耳

ことわざ

しょうがく4ねんせい ・ こくご ・ k4-57

体の 言葉の かんようく

やさしい ★☆☆ ・ 体の 部分を 使った かんようく

体の 言葉が 入るよ



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1

□に 入る 体の 部分を えらんで、記ごうを 書こう。（ ）は 意味だよ。

(ク)	(キ)	(カ)	(オ)	(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
首	顔	目	耳	足	口	鼻	手

1 □が ない（とても すきだ）
［　　］

2 □を かす（話を 聞いて あげる）
［　　］

3 □が すべる（言っては いけない ことを うっかり 言う）
［　　］

4 □を 焼く（あつかいに こまる）
［　　］

5 □が 出る（用意した お金より 多く かかる）
［　　］

6 □が 高い（とくいに なる）
［　　］

7 □が 広い（知り合いが 多い）
［　　］

8 □を 長くする（今か 今かと 待つ）
［　　］

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「かんようくの 意味」

こたえは ここ

つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

耳
ことわざ

しょうがく4ねんせい ・ こくご ・ k4-58

かんようくの 意味

ふつう ★★☆ ・ かんようくの 意味を えらぶ

言葉どおりの
意味じゃないよ



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1

かんようくの 意味に ○を つけよう。

1 ねこの 手も かりたい
- (ア) ねこと あそびたい
- (イ) とても いそがしい
- (ウ) ねこを かいたい

2 馬が 合う
- (ア) 馬に 乗るのが うまい
- (イ) 気が 合う
- (ウ) かけっこが 速い

3 すずめの なみだ
- (ア) ほんの 少し
- (イ) 小鳥が なく
- (ウ) とても かなしい

4 油を 売る
- (ア) いっしょうけんめい はたらく
- (イ) 店で 油を 売る
- (ウ) むだ話を して なまける

5 さじを 投げる
- (ア) 食事を いそぐ
- (イ) 遠くまで 物を 投げる
- (ウ) 見こみが ないと あきらめる

6 水に 流す
- (ア) せんたくを する
- (イ) 川で あそぶ
- (ウ) 前の ことを なかった ことに する

7 図に 乗る
- (ア) 地図を 見て 出かける
- (イ) ちょうしに 乗って いい気に なる
- (ウ) 乗り物に よう

8 たかを くくる
- (ア) 大した ことは ないと かるく 見る
- (イ) ひもで しっかり むすぶ
- (ウ) 鳥を つかまえる

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「気持ちを 表す かんようく」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

耳

ことわざ

しょうがく4ねんせい ・ こくご ・ k4-59

気持ちを 表す かんようく

ふつう ★★☆ ・ 気持ちを 表す かんようく

どんな 気持ちの 場面かな



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿＿ がつ ＿＿＿＿ にち

1 つぎの 場面に 合う かんようくに ○を つけよう。

1 みんなに ほめられて、とくいな 気持ちに なった。
(ア) 気が 重い (イ) 鼻が 高い (ウ) 耳が いたい

2 自分の 悪い ところを 言われて、聞くのが つらい。
(ア) 鼻が 高い (イ) 耳が いたい (ウ) むねが おどる

3 明日の 発表の ことを 考えると、気持ちが しずむ。
(ア) 気が 重い (イ) むねが おどる (ウ) 鼻が 高い

4 心配ごとが なくなって、安心した。
(ア) 耳が いたい (イ) むねを なで下ろす (ウ) はらが 立つ

5 弟の いたずらに、がまんが できなくなった。
(ア) むねを なで下ろす (イ) 息を のむ (ウ) はらが 立つ

6 美しい けしきに おどろいて、思わず 声が 出なかった。
(ア) 気が 重い (イ) 息を のむ (ウ) はらが 立つ

7 明日からの 旅行が 楽しみで、わくわくする。
(ア) 耳が いたい (イ) 息を のむ (ウ) むねが おどる

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「かんようくを 使おう」

こたえは ここ

つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

耳 かんようくを 使おう

ことわざ

むずかしい ★★★ ・ 文に 合う かんようくを えらぶ

文の 意味を 考えよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1

（　）に 合う かんようくを えらんで、□に 記ごうを 書こう。入れる ときは 文に 合う 形に かえて 読もう（焼く→焼いて）。

㋐ 耳を すます
㋑ 足を 運ぶ
㋒ 鼻に つく
㋓ 目を 丸くする
㋔ 手を 焼く
㋕ 首を かしげる
㋖ 口を そろえる
㋗ 顔が 広い

1 弟の いたずらには、母も（　）いる。□

2 手品を 見て、みんなが（　）。□

3 「おいしい」と、みんなが（　）言った。□

4 何度も 図書館に（　）調べた。□

5 ふしぎな 答えに、先生は（　）。□

6 鳥の 声に（　）。□

7 おじは（　）ので、町の 人を みんな 知って いる。□

8 自まん話ばかりで、話し方が（　）。□

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）